

トマトが苦手なお子さんが、

美味しそうに食べてくれた

農業を始めて10年、
家族で仲良く農業を続ける

トマトが苦手なお子さんが
美味しそうに食べてくれた

生産者にとつて

お客様からの反
応はやはり気
になるもの。

「ほれまる」を
出荷してしば
らくしたころ、

出荷先である
お客様との出会



大越農園様は、代表の森谷幹夫さんと奥様、ご息女を中心に農園を切り盛りしています。露地3ヘクタール、ハウス2.5アールで野菜作りを行っており、そのうち10アールでミニトマトを作っています。ミニトマト作りは農業を始めてすぐからスタートし、その確かな品質は、出荷先のスーパーや直売所のお客様からも高い評価を得ています。

70数年の人生で初めて

おいしいトマトに出会った

「ほれまる」は、4年前の作付当初から甘さと酸味のバランスの良さ、口の中にいつまでも残る旨味と香りに、これまで食ってきたどんなミニトマトよりも強烈な手ごたえを感じていた森谷さんですが、実際に出荷してみても、お客様の反応の速さに驚かされます。出荷直後から「ほれまる」の食味のよさは評判を呼び、森谷さんの予想をはるかに上回る速さでリピーターが付き始めたのです。こうして「ほれまる」は一気に人気商品の仲間入りを果たしました。

「ほれまる」は、一般的なトマトよりも食べやすく、お子さんも何の抵抗もなく食べられたのかもしれない。自分が作ったミニトマトで子どもがミニトマトを好きになつてくれた、生産者として、これ以上の喜びはないのではないのでしょうか。

これからも「ほれまる」を

大事に育てたい

森谷さんの「ほれまる」への自信は確信に変わりました。

これからも、一人でも多くのお客様に「ほれまる」を届けていきたいと意気込んでいます。

TEAMほれまる④

大越農園様 千葉県野田市

「ほれまる」の状態を確認する
(右から)森谷幹夫さん、
ご息女、森谷夫人